

# 高岸幼稚園

## 「ICTたいむ」について

2019年8月



## 未来社会で

### 自分らしく活躍して欲しい

子どもたちが大人になった時代は、AIやロボットが当たり前になるなど超高度情報化社会が到来するとともに、日本では人口減少が進むと言われています。そのような未来社会で一人一人が活躍できるように、高岸幼稚園では、新しい教育活動として2014年度より「ICTたいむ」に取り組んでいます。

iPadなどの活用を通して、相手を尊重し、自分の考えを伝えたり、仲間と協力しながら、創造的に活動できる。

その種を蒔き、芽吹きを見守る取組みです。

### 合言葉は

### まつ・みる・おうえんする

ICTタイムの基本となる「おやくそく」

○まつ：じぶんの順番を待つ

○みる：ともだちの活動をよくみて、学ぶ

○おうえんする：こまっていたら助け合う

クラスにとって、一人一人にとって、豊かな時間になるように、子どもたちと毎回確認しています。

教える側にとっても、大切な姿勢だと考えています。

## 新しい幼稚園教育要領

2018年度より、幼稚園教育要領（文部科学省）が改定されました。大きな特徴として「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿（10の姿）」が示されています。

従来から取り組んでいる幼稚園教育において「10の姿」が示す内容を育むとともに「ICTたいむ」の中でも、その育ちが期待出来る内容が多く含まれています。

「ICTたいむ」では「10の姿との関連」をテーマとして実践研究を進めています。

### 【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

#### （10の姿）

- ・健康な心と体
- ・自立心
- ・協同性
- ・道徳性、規範意識
- ・社会生活との関わり
- ・思考力の芽生え
- ・自然との関わり、生命尊重
- ・数量や図形、文字等への関心、感覚
- ・言葉による伝えあい
- ・豊かな感性と表現

※「ICTたいむ」でも育ちが期待される部分

### 学校法人高岸幼稚園

サポート：(株)NEL&M、ICTスクールNEL

## つくる・つたえる

「ICTたいむ」では、1台のiPadを「クラス全員」「グループ（3人程度）」で共有しながら活動していきます。

テーマは「つくる・つたえる」です。

ともだちと協力しながら、創造的な活動と、考えや思いを伝える活動を展開しています。



事前の検討と、事後の振り返り

## 計画と改善

「ICTたいむ」では、教師と専門講師が

- ・年間カリキュラム（つくる・つたえる）
- ・各回の活動案

この二つを作成しています。

こどもたちにとって良質な時間になるように、適切な計画と省察を繰り返し、常に改善することを大切にしています。

毎年、毎回、事前の検討と事後の振り返りを積み重ねています。

## 考え合う。話し合う。

「えほんづくり」「タングラムあそび」「思い出プレゼン」「プログラミング」などグループの中で考え合ったり、自分の思いを伝え話し合う機会が増えるように取り組んでいます。1人1台でiPadを使ってしまい、会話が減ることがないように心がけています。

ICTの活用を通して「会話が生まれる」ことを大切にしています。



3人で1冊のえほんづくり

## ことば

会話が増え、多様になると、「ことば」の種類が増えることが期待されます。（語彙の増加）

「ことば」は、思考を支える大切なものです。豊かな思考力を育むためにも「ことば」を大切にしていきたいと考えています。

## 協力。表現。

グループの創作活動では、協力する場面が多くなります。ともだちの表現を見て真似たりしながら表現が変化する様子や、互いに相手を尊重し助け合い、力を合わせて創作する姿を見ることができます。

アナログな活動に、少しだけデジタル（ICT）が加わることで、より豊かな表現に親しみ、これからの時代に応じた感性が育まれることを期待しています。



3人で協力してプログラミング作品を創る

## 伝え合う。

思い出プレゼンや作品の発表会など、友達や保護者の方の前で「伝える」場面では、「自分の話を聞いて欲しい。」「相手の話を聞こう。質問しよう。」という言葉で伝え合う活動が増えています。



プログラミング作品の発表会